



地域医療連携だより

H20.7
第18号



兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL.0798-45-6111(大代表)
TEL.0798-45-6001(地域医療・総合相談センター)

病院長 山村 武平

副院長 島 博 基 (経費削減担当)

谷 澤 隆 邦 (診療支援担当)

太 城 力 良 (安全管理担当)

山 田 繁 代 (療養環境担当)

地域医療・総合相談センター長

難 波 光 義

理 念

兵庫医科大学病院は、安全で質の高い医療を行い、地域社会へ貢献するとともに、よき医療人を育成します。

基本方針

- 患者の立場に立った医療の実践
- 人間性豊かな、優れた医療人の育成
- 高度で、先進的な医療や医学研究の推進
- 健康増進活動による保健、福祉の推進
- 地域の医療機関との円滑な連携

外科の組織改変について

平成20年9月(予定)より、当院では外科の診療体制を臓器別組織に改変致します。



外科部門長

肝・胆・膵外科 診療部長 藤元 治朗

外科診療体制に肝・胆・膵、上部消化管、下部消化管、乳腺・内分泌、小児の専門分野が配置され、より地域の医療機関との円滑な連携・質の高い医療の実践を目指します。ただし、外来としてはわかりやすくするため、肝・胆・膵、上部消化管、下部消化管はまとめて「消化器・一般外科(仮称)」として表示し、患者さんの診察・地域医療機関からの紹介に幅広く対応させていただきます。

境界領域の疾患や救急を要する疾患も多々あるかと存じますので、そのような場合の紹介状は「兵庫医大・外科」の宛先でも結構です。何かありますれば、いつでもお気軽にご相談いただければ幸いです。

【各部門のご紹介】

肝・胆・膵外科

(診療部長 藤元 治朗) 連絡先 TEL:0798-45-6582 FAX:0798-45-6581

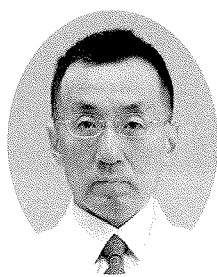
肝臓・胆道・胆嚢・十二指腸・膵臓・脾臓疾患はこれまでも多くの手術症例・実績を有し、内視鏡手術による体に優しい低侵襲手術から血行再建・拡大手術・肝臓移植まで幅広く行っています。また各種内視鏡下手術・一般外科診療をおこない、これまで同様地域の皆様方のご要望に添いたいと思います。



上部消化管外科
診療部長 笹子 三津留

連絡先 TEL: 0798-45-6767
(笹子直通) FAX: 0798-45-6764

私たちは食道から十二指腸にある病変の外科的な治療を担当しています。わが国では悪性疾患が中心となり、主なものは食道癌、胃癌、十二指腸癌、各部位のGISTなどです。疾患の進行度と部位に応じて、ガイドラインにおける標準治療を術後のQOLと遠隔成績のバランスが良い方法で提供しています。手術の質では全国屈指と自負しています。



下部消化管外科
診療部長 富田 尚裕

連絡先 TEL: 0798-45-6372
FAX: 0798-45-6373

大腸癌グループでは、下部直腸癌に対する肛門温存手術を中心に多くの大腸癌手術を行い、化学療法・放射線療法を含めた集学的治療で良好な治療成績を挙げています。また遺伝性大腸癌についても専門的な対応が可能です。

炎症性腸疾患(IBD)グループでは、潰瘍性大腸炎、クローン病の外科的治療について全国有数の手術件数、治療成績を誇っています。



乳腺・内分泌外科
診療部長 三好 康雄

連絡先 TEL: 0798-45-6374
FAX: 0798-45-6373

当科では乳癌に重点をおき、診断から手術さらにはホルモン療法や化学療法による幅広い診療を行っています。特に石灰化病変の診断装置による早期乳癌の発見や、センチネルリンパ節生検術、形成外科との連携のもと乳房一期再建術にも対応しており、患者さんのご要望に幅広く応えられるよう最先端の医療環境を整えております。



小児外科
診療部長 奥山 宏臣

連絡先 TEL: 0798-45-6582
FAX: 0798-45-6581

専門領域：一般小児外科、新生児外科、小児呼吸器外科、漏斗胸などの胸郭手術、鏡視下手術

上記専門領域以外にも鼠径ヘルニアや便秘などの日常よくみられる疾患から、急性虫垂炎、腸重積症といった救急疾患の診療も行っています。また他科との連携により出生前診断、小児がんといった専門性を要する診療も行っています。

ご予約に関しましては、地域医療・総合相談センターをご利用ください。

ご予約専用 FAX: 0798-45-6002 TEL: 0798-45-6001

治療最前線

発作性心房細動に対するカテーテルアブレーション治療



☆不整脈外来

毎週 火曜日・金曜日
 担当 循環器内科 峰隆直
 場所 1号館3階 内科(第6診察室)
 TEL 0798-45-6200

中央 峰 助教

従来、発作性心房細動の治療は薬物療法が中心でした。実際の診療の場において、有効な薬物選択に難渋することが多く経験されます。例えうまくいったとしても、薬物療法は若年・壮年の患者さんにおいては長期服用が強いられ、それによるQOL低下や副作用も懸念されます。

近年、そのような方に対しカテーテルアブレーション術が行われるようになりつつあります。発作性心房細動の起源は肺静脈に多いため、左心房内においてカテーテルで肺静脈を電氣的に隔離し心房細動を予防します。現在、兵庫医科大学病院においても同治療を行い、良好な成績を得ております。

70歳以下(原則として)の方で自覚症状が強く、薬剤抵抗性の発作性心房細動の患者さんがおられれば是非ご紹介ください。

※この治療法は、その他の不整脈に対するカテーテルアブレーション治療と比べると、難易度が高く、アブレーション通電回数も多くなりがちで、そのため合併症の発生率も多い傾向があります。心房細動が治る見込みが少ないような患者さん、基礎心疾患のある患者さん、治療による合併症リスクの高いご高齢の患者さん、また自覚症状がなく心房細動にご不自由されていない患者さんには、あまりおすすめしておりません。

発作性心房細動のカテーテルアブレーション治療

| | |
|---------------|--|
| 推奨 | <70歳、有症候性、薬剤抵抗性、 発作性・持続性、基礎疾患なし、正常左房径 |
| オプションとして患者に説明 | >70歳、有症候性、心不全、軽症心疾患 左房径<50mm |
| 推奨しない | >75歳、慢性、中等症心疾患、 左房径>50mm |
| 適切ではない | >80歳、無症候性、慢性、重症心疾患、 左房径>60mm |

専門外来のご案内

心臓リハビリテーションのご案内



☆心臓リハビリテーション外来

毎週 水曜日、木曜日：12時～14時
 (地域医療・総合相談センターからご予約ください)
 担当 内科冠疾患科 高橋敬子
 場所 1号館3階 内科(第7診察室)
 TEL 0798-45-6200

左から2人目 高橋 講師
 スタッフ一同

心臓病を持っている方は「運動ができない」という認識をお持ちではありませんか？その方の病状にあった運動を習慣づけることで心臓病の改善や再発の予防が認められます。その効果は種々の薬剤よりも有効という報告もあり、うまく習慣がつけば心臓リハビリテーションは、個人の医療負担も少なく自宅でも可能な有効な手段となりえます。

当院では2007年7月より心臓リハビリテーションを入院の方のみでなく外来の方も対象に取り組んでいます。またスタッフも専任の循環器医師、リハビリテーション医師、理学療法士が指導を行っています。

対象となる方や心臓リハビリテーションを受ける日数の制約はありますが、その期間内にご自分にあった運動の指導と方法を身に付けていただけます。またその運動効果を通常の診療の中で判断し、患者さん方には「運動処方」という形で還元しています。運動習慣を持っていただくことで健康に自信を持っていただいたり、実際に心不全の再入院が減少したりと効果をあげています。また心臓病を患ったことで陥りがちな鬱傾向も改善されるようです。

また心臓リハビリテーションには含まれませんが、生活習慣病をお持ちの方、特定検診での指導、メタボリック症候群に対する運動指導も行っています。ご活用下さいませ。



左：実際のリハビリの様子

心臓リハビリテーションの対象者(診断日より150日間)

急性発症した心大血管疾患または心大血管手術後の患者
 (開心術後、冠動脈カテーテル治療後、大動脈解離など)
 慢性心不全であって、左室EF40%以下またはBNP80pg/ml以上
 末梢動脈閉塞性疾患であって間歇性跛行を呈するもの

◆編集・発行

平成20年7月1日

兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター 〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号

TEL 0798-45-6111 (大代表) 0798-45-6001 (地域医療・総合相談センター)

FAX 0798-45-6002 (紹介予約専用)

E-mail: chiiki@hyo-med.ac.jp <http://www.hyo-med.ac.jp> (ホームページアドレス)

